

科目名	システムマネジメントゼミナールII															
英文	Seminar in Systems Management II															
担当教員(カナ)	宋 宇 (ソウ ウ)															
E-mail	song@fit.ac.jp	研究室	B棟8階 各研究室													
学科	システムマネジメント学科	学年	3	開講学期	2014年度 前期～後期											
必修・選択	必修	単位数	4	授業形式	少人数ゼミ											
キーワード		関連リンク														
授業内容	<p>通常の講義では、教員から学生への一方的な知識の伝授が主となりがちであるので、このゼミナールでは学生が主体となって研究討論を行うことを目的としている。学生は、各研究室に配属され少人数で教員とじかに接触して討論することにより問題解決のための工学的手法、考え方の基礎を修得する。さらに、研究論文の内容の把握、報告書の作成、発表の仕方などを学ぶ。少人数教育になるため教員と密なる接触が期待でき多様な相談にのれることもできる。</p> <p>4月の第1週の講義において、新3年生に対して各教員からゼミナールの説明があり、希望によって第2週の講義までに研究室に配属する。</p>															
学習目標 A-Hを達成するために費やされる時間の割合(%)	A	20	B	5	C	10	D	10	E	5	F	20	G	15	H	15
学習目標に対するこの授業の達成目標	<p>(A) 企業活動で生起する問題を解決するための多面的に物事を考える能力とその素養。</p> <p>(B) 技術者が社会に対して負っている責任に関する理解(技術者倫理)</p> <p>(C) 激変する企業環境において、競争優位を確保するための経営知識・手法</p> <p>(D) 情報技術を習得し、サイバースペースを設計・管理・運営する能力</p> <p>(E) 科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのシステムデザイン能力</p> <p>(F) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力</p> <p>(G) 自主的、継続的に学習できる能力</p> <p>(H) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力</p>															
成績評価の方法	主に出席、発言、発表、討論などゼミへの参加度による評価。ゼミによって小論文を課すことも。															
教科書																
参考書																
履修の前提																
となる科目																
関連科目	システムマネジメント基礎、システムマネジメントゼミナールI															
授業計画	<p>第2週から第15週: シミュレーションソフトウェアについての学習</p> <p>第16週から第30週: OR手法についての輪読</p>															
	出席が大切です。															

履修上の アドバイス	
---------------	--